

# 宮城県の被災の現状と課題

宮城県商工会議所連合会  
副会長 渡辺 静吉

## 1 地震の概況

発生日時	平成 23 年 3 月 11 日 (金) 14 時 46 分頃
震央地名	三陸沖 (北緯 38.0 度、東経 143.9 度、牡鹿半島の東約 130km)
震源の深さ	約 24km
規模	マグニチュード 9.0
最大震度	震度 7 (栗原市)
津波	7.7m (石巻市鮎川) 7.2m (仙台港) 最大で内陸 5km まで津波が到達、県土約 4.5% の 327 km <sup>2</sup> が浸水 <u>女川町発表による、女川町を襲った津波の高さは、14.8m。ただし、最高到達地点は標高 20m 程度。</u>

## 2 被害の状況等 (7 月 13 日現在)

### 人的被害 (継続調査中)

死者	9,217 人	行方不明者	2,803 人
重傷	385 人	軽症	3,342 人

### 住家・被住家被害 (継続調査中)

全壊	67,533 棟	半壊	55,015 棟
一部破損	93,979 棟	床上浸水	6,846 棟
床下浸水	9,836 棟	非住家被害	17,966 棟

### 避難の状況 (ピーク時)

避難所数	1,183 施設 (35 市町村)
避難者数	320,885 人

### ライフライン関係被害 (ピーク時)

電気	停電戸数	1,545,494 戸
水道	給水支障	35 市町村
ガス	供給支障	13 市町
下水道	処理場被災	22 カ所

### その他の主な被害

#### (土木施設)

道路施設	規制 106 路線、落橋 12 箇所
河川施設	県内 125 河川(508 箇所)被災
港湾施設	護岸崩壊、エプロン沈下、コンテナ流出など
空港施設	滑走路の使用不可 空港ビルは中 2 階部分迄水没

#### (農林水産施設)

漁港施設	142 漁港のすべてが被災
漁船関係	約 90% に当たる 1 万 2 千隻が 流失・陸揚げ等の被害
農地関係	耕地面積の 1 割弱約 1 万 3 千 ヘクタールが浸水

### 【復旧状況】

電気	被災区域を除き復旧済
水道	11 市町で給水支障あり
ガス	被災区域を除き復旧済
下水道	簡易処理中(25 年度迄に復旧)
道路等	道路復旧は 3 ヶ年、まちづくり関 連は概ね 5 ヶ年以内で原則完了。 河川は概ね 2 ヶ年、浸水区域 5 ヶ 年程度
鉄道	4 月 29 日東北新幹線の全線で運 行再開、在来線各線も一部を除き 再開
港湾	4 月 1 日仙台塩釜、石巻港へ一般 貨物船が入港。仙台塩釜、石巻、 松島、気仙沼港は、24 年度内に 完全復旧
空港	3 月 29 日滑走路が利用可能。 7 月 25 日、国内定期便全線復活、 アクセス鉄道全線復旧は 9 月末